



しじゅうから

福島市小鳥の森通信 2013年10月号 No.338

小鳥の森で観察してみよう 27

モズ

分類：モズ科

大きさ：約 20 cm

生態：明るい場所を好み、秋に「高鳴き（たかなき）」という声を出し、冬のエサ取りの用のなわばりを持ちます。食べ物は虫や、トカゲ、小鳥などをつかまえます。

小鳥の森での観察：

かんさつ広場や中央広場周辺の明るい開けたところで食べ物を探している姿を見かけます。

くちばしはエサを食いちぎることができる鋭い形をしています。



とまっている時、尾羽で円を描いたり、上下にふったりします。

三本木らたかふみ

今回の絵はさんぼんまつたかふみさんが描いてくれました。



10月の自然情報



10月は冬に厳しい寒さからさけるために「冬鳥」が来はじめます。いち早く姿を見せるものに、ジョウビタキとツグミがいます。毎年渡って来る時期は、ばらつきがあり、その年の気候やエサの豊富さによって訪れる日にちや数は変わります。

今年の秋、小鳥の森にはいつ頃訪れるでしょうか。

今年は10月8日が「寒露（かんろ）」にあたります。寒露とは、野草に冷たい露（つゆ）がやどることをいいます。寒露がすぎる頃より、本格的な秋になります。

小鳥の森では寒露のころ、「ツルリンドウ」や「リュウノヒゲ」などが赤や青の実をつける時期になり、森の散歩の途中でも目立つ存在です。散歩の際、秋の実探しをしてみはいかかでしょうか。

種類	昨年の秋、初めて確認した日
ジョウビタキ	10月18日
ツグミ	10月28日



ツグミ



ジョウビタキ



ツルリンドウ



リュウノヒゲ



ガマズミ



タチシオデ

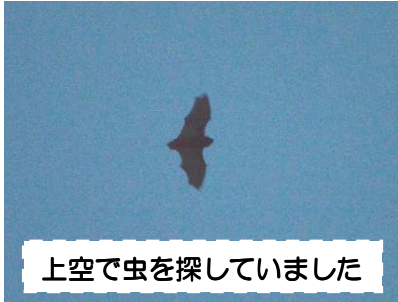


9月の自然



夕方に空を見上げると、ネイチャーセンター周辺で黒いものが飛んでいました。よく見みると春や夏には余り確認しなかったコウモリの仲間でした。とくに9月に入ってからは、同時に10頭くらい飛んでいるのを観察しました。さらに、上空で何をしているのか双眼鏡で見ると、コウモリは飛んでいる小さな虫を捕まえていました。

この時期、森の上空には小さな虫が多く飛んでいることをコウモリは教えてくれました。



上空で虫を探していました

お彼岸（ひがん）の時期になると、かんさつ広場ではヒガンバナが咲き始めます。昨年は9月21日に開花しましたが、今年は夏に適度な雨が降ったせいか9月12日に咲きました。ハギの仲間もヒガンバナと同じところに咲き始め、かんさつ広場に赤とピンクの花がいろいろと咲いていました。またガマズミの赤い実も見かけるようになり、園内に秋の気配が少しずつただよってきているようでした。

かんさつ広場の道沿いにヒガンバナが咲いていました。



お山の大将集まれ報告

9月14、15日に「小鳥の森で夜の観察会」を開催しました。今回は小鳥の森のネイチャーセンターにお泊まりをして、夜の森を観察しました。白い布にライトをあて、集まってくる虫の観察をしたり、暗い森の中を散歩しながら聞こえてくる音に耳をすましたりと、日中とは違った森の姿を楽しみました。

明かりを白い布に当てて虫の観察をしました。



夕食にハヤシライスを作って食べました



30周年小鳥の森の写真展を市内で開催致します

今年、開園30周年を迎えた小鳥の森の歩みと魅力を写真でお伝えします。

日時	場所
10月 7日～10月11日	こむこむ
10月12日～10月14日	コラッセ
10月15日～10月25日	アオウゼ

小鳥の森30周年記念イベント

日時：11月2日（土）10：00～13：00
 場所：小鳥の森かんさつ広場（参加費無料。
 ※雨天時等：ヘルシーランド隣の屋内ゲートボール場）
 内容：ゲスト/柳生博さん（日本野鳥の会会長）、
 弦間一郎さん（初代チーフレンジャー）
 写真展、竹や木工クラフト体験等。



※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。また市内の学校や様々な団体向けに出前講座も実施しています。詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時
 《入場無料》 休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇 98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f.kotorinomori.org/> ←アドレスが変更になりました

小鳥の森通信[しじゅうから] 2013年10月号No.338/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま